

公開シンポジウム

2030 年 冬季オリンピック・パラリンピック 新潟開催の課題を探る

～「出来ない理由」を「出来る理由」へ～

オリンピック・パラリンピックは多くの人々、そしてスポーツを志す子どもたちに夢と感動を与えてくれます。世界を見ても、冬季大会を開催できる都市は限られています。豊富な雪資源を持ち、日本海側の中核拠点でもあるこの新潟県。他の都市に比べても開催地としての優位性は突出しています。

このシンポジウムでは、2030 年の冬季オリンピック・パラリンピック新潟開催の実現に向けて「課題」を探っていきます。

パネリスト

■篠田 昭 氏

新潟市長



■皆川 賢太郎 氏

元アルペンスキー日本代表・プロスキーヤー
(公財)全日本スキー連盟 理事



■土屋 龍一郎 氏

(株)エムウェーブ 代表取締役社長
(社)日本青年会議所 第 50 代 会頭



■西原 康行 氏

新潟医療福祉大学 教授



日時

2016.11.25 金

18:00～20:00 (受付開始 17:00～)

入場無料
先着 250 名
(定員になり次第締め切り)

会場

ホテル イタリア軒 新潟市中央区西堀通 7 番町 1574

電話: 025-224-5111

※会場駐車場が限られておりますので、公共交通機関等をご利用ください

■篠田 昭氏 (しのだ あきら)

1948年 新潟県新潟市生まれ
新潟市長

上智大学外国語学部卒業。新潟日報社編集局学芸部長兼編集委員、論説委員兼編集委員などを経て、2002年新潟市長選に初当選。近隣13市町村との合併をまとめあげ、2007年4月、本州日本海側で初の政令指定都市移行を実現。2014年11月再選を果たし、現在4期目。主な著書に『水と土の文化王国にいがた』、『新潟力』など。

■皆川 賢太郎氏 (みながわ けんたろう)

1977年 新潟県南魚沼郡湯沢町生まれ
元アルペンスキー日本代表、プロスキーヤー
(公財)日本スキー連盟 理事
2016年アルペンワールドカップ湯沢苗場大会実行委員会副会長

長野、ソルトレイク、トリノ、バンクーバーと4度のオリンピックに出場した日本が誇るアルペンスキーヤー。競技生活では2度の大きな怪我に見舞われるが、その度に見事に復帰。現在はウィンタースポーツの発展の為に尽力している。

■土屋 龍一郎氏 (つちや りゅういちろう)

1961年 長野県生まれ
(株)エムウェーブ 代表取締役社長
長野市スポーツ協会理事長・長野県観光機構 DMO アドバイザー
長野県スポーツコミッションアドバイザー

1998年長野オリンピック開催時に長野青年会議所理事長として、セントラルスクエアでの表彰式を主管。長野オリンピックから始まったと言われるスポーツボランティアの先駆けとして活躍。その後、日本青年会議所第50代会頭として日本の青年経済人をリードし、現在は会社経営の傍ら FM 長野番組審議会委員、信濃グランセローズ監査役等を歴任し、地域密着の活動を展開している。

■西原 康行氏 (にしはら やすゆき)

1967年 長野県須坂市生まれ
新潟医療福祉大学 健康スポーツ学科長 / 教授 教育学博士

ミズノ(株)経営企画部生活スポーツ研究室、新潟医療福祉大学講師、准教授を経て、2009年より同大学教授。身体知研究で国際的に注目されており、今年度よりドイツ・ライプツヒ大学客員研究員に就任し、多くのチームマネジメントやスポーツ政策マネジメントに携わっている。現在は、日本学術振興会科学研究費委員会専門委員、日本体育・スポーツ経営学会理事、新潟県スポーツ推進プラン策定委員長等を歴任している。

応募要項

■FAXでの参加申し込み

FAX.025-241-7100

下記に必要事項をご記入の上送信してください。
申し込まれた方は受付時にお名前をお伝え下さい。

■メールでの参加申し込み

nace4@niigata-doyukai.jp

お名前と人数を本文に記載の上送信してください。

氏名	ふりがな	姓	名	所 属	役 職	連絡先
						メールアドレス 電話番号
氏名	ふりがな	姓	名	所 属	役 職	連絡先
						メールアドレス 電話番号
氏名	ふりがな	姓	名	所 属	役 職	連絡先
						メールアドレス 電話番号